

発明の名称: リケッチア・ジャポニカ感染症の診断方法

利用・用途・応用分野

無料開放特許

日本紅斑熱の原因菌であるリケッチア・ジャポニカ感染症の迅速・高感度診断法

目的・課題

リケッチア属細菌は、ヒト細胞に感染し様々な感染症原因となることが知られ、通常はダニなどを媒介にして感染する。近年、リケッチア・ジャポニカという新種リケッチアが原因で起こる「日本紅斑熱」が確認された。この疾患は、風邪と似た症状を示すため正しい診断が行われない場合が多く、疾患発生時における高感度でかつ迅速な診断法の開発が望まれていた。

解決ポイント

リケッチア・ジャポニカのゲノムにて、リケッチア・コノリのゲノムとの比較で見出したリケッチア・ジャポニカに特異的な領域の塩基配列、および、リケッチア属菌のゲノムとの配列相同性検索により見出した塩基配列を基に、リケッチア・ジャポニカ由来のDNAを高感度で検出する方法を見出した。

研究概要・アピールポイント

本発明により、リケッチア・ジャポニカ感染症の診断が、高精度で迅速に行えるようになる。

菌名	本発明のプロープによる検出	菌名	本発明のプロープによる検出
ダニ由来試料		ヒト由来試料	
<i>Rickettsia japonica</i>	+	<i>Rickettsia japonica</i>	+
<i>Rickettsia helvetica</i>	-	<i>Rickettsia prowazekii</i>	-
<i>Rickettsia honei</i>	-	<i>Rickettsia rickettsii</i>	-
<i>Rickettsia tamurae</i>	-	<i>Rickettsia conorii</i>	-
<i>Rickettsia sp.</i>	-	<i>Rickettsia siberica</i>	-
		<i>Rickettsia typhi</i>	-

本発明の提供するプロープを用いたリケッチアの検出。ダニ由来、ヒト由来試料の両方で、リケッチア・ジャポニカのみを特異的に検出することに成功した。

◆ お問い合わせ先 ◆

有限会社山口ティー・エル・オー TEL: 0836-22-9768 E-mail: tlojim@yamaguchi-u.ac.jp